

(1) 健康・生活

支援内容	<p>(ア) 健康状態の観察・把握 来所時の検温、健康状態の確認、急病時の保護者連絡</p> <p>(イ) 健康の増進 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身につける支援 自分の体調変化に気づき、支援者に伝えるスキルを獲得できるよう支援</p> <p>(ウ) リハビリテーションの実施 日常生活や社会生活を営めるようその子にした身体的、精神的、社会的訓練の実施</p> <p>(エ) 基本的な生活スキルの獲得 手洗い、食事、排泄、衣類の着脱等生活に必要な基本的な生活動作を習得できるよう支援</p> <p>(オ) 構造化等による生活環境の整備 生活の中で様々な遊び・活動を通して学習できるよう環境を整備 障害の特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化</p>
活動内容	<p>手洗い、検温、トイレ、食事等の支援、 お手伝い（服たたみ、服干し、窓ふき）の実施、 クッキング、食器洗い、台ふき等</p>

楽さん家では、
5領域の視点を踏まえた
支援プログラムを提供しています。

(1) 健康・生活
(2) 運動・感覚
(3) 認知・行動
(4) 言語・コミュニケーション
(5) 人間関係・社会性

みらくる 楽さん家
ミライエ 楽さん家
こども発達支援事業所 ミラサーチ楽さん家

(2) 運動・感覚

支援内容	<p>(ア) 姿勢と運動・動作の向上 姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の習得、筋力の維持・強化</p> <p>(イ) 保有する感覚の統合的な活用 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう活動・遊び等を通して支援</p> <p>(ウ) 感覚特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応 感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援</p>
活動内容	<p>粗大運動遊び、感覚遊び ビジョントレーニング 微細運動遊び</p>

(3) 認知・行動

支援内容	<p>(ア) 認知の発達と行動の習得 視覚、聴覚等の感覚を十分活用し、必要な情報を収集して認知機能への発達を促す支援</p> <p>(イ) 知覚から行動への認知過程の発達支援 スケジュールやルール表示等から必要や情報を取得・選択肢、行動につなげる一連の認知過程の発達を支援</p> <p>(ウ) 空間・時間、数量、大小等の概念形成の習得 物や空間、時間、数量、形の大きさ等の概念形成を支援することで、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援</p> <p>(エ) 認知の偏りへの対応 個々の特性に配慮し、入力情報を適切に処理できるよう支援</p> <p>(オ) 行動障害への予防および対応 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生じる行動障害の予防と適切な行動への置き換え支援</p>
活動内容	<p>時間・空間の構造化 スケジュール等の見通し支援、タイムタイマーの活用 自立課題、自由遊びの選択、ご褒美カードの実施 クッキングや工作時の工程表の提示</p>

(4) 言語・コミュニケーション

支援内容	<p>(ア) 自発的なコミュニケーションを促す支援 物や体験と言葉の意味を結びつける支援</p> <p>(イ) 受容コミュニケーションと表出コミュニケーションの支援 言葉、文字、イラスト等を使って相手の意図を理解したり（受容）、自分の考えを伝える（表出）の支援</p> <p>(ウ) 伝わる経験 人とのやりとりを通して、伝わる経験を通してコミュニケーション能力の向上を支援</p>
活動内容	<p>スケジュールカード支援 自由遊びの選択ボード、要求カードの活用 今の気持ちカード、SOSカードの活用</p>

(5) 人間関係・社会性

支援内容	<p>(ア) アタッチメント（愛着行動）の形成 安心できる環境の中で、周囲の人と安定した関係を形成するための支援 人との距離感の学ぶ支援</p> <p>(イ) 模倣行動の支援 活動を通して、人の動きを模倣することで、社会性や対人関係の芽生えを支援</p> <p>(ウ) 感覚遊びから抽象遊びへの支援 感覚遊びから、見立て遊びやごっこ遊び等の抽象遊びを通して徐々に社会性の発達支援</p> <p>(エ) 一人遊びから協同遊びへの支援 一人遊び・並行遊び・連動的遊び・共同遊びを通して徐々に社会性の発達支援</p> <p>(オ) 自分の気持ちのコントロールのための支援 自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整ができるよう支援</p> <p>(カ) 集団への参加支援 集団活動に参加するための手順やルールを理解し、参加できるよう支援</p>
活動内容	<p>ルールの視覚化・明確化、集団あそび 施設外活動（買い物、公共施設への外出等） SST</p>